

宮野公樹(京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授)、
重田眞義(京都大学学際融合教育研究推進センター センター長(アジア・アフリカ地域研究研究科教授))、
桑島修一郎(京都大学産官学連携本部 特任教授)

概要

企業が掲示するテーマをもとに、文理問わず100の専門分野の京都大学教員・研究者が集まりワークショップを開催。企業単独では困難な多角的かつ本質的な観点からの新事業コンセプトを創出。質保証のため年間最大3社まで。当面は京都大学が新設した子会社「京都大学オリジナル」と営業面で業務提携。

目的

「新規事業アイデアの枯渇」、「企業戦略の長期的視点での不安」等、次なる時代にむけてどのような製品・サービスを作ればいいのか分からないという企業に対し、一般的な経営コンサルとは大きく異なる「学問」の観点から社会的新価値を提供する支援を行う。

内容

企業が掲示する課題(テーマ)を元に、京都大学の教員・研究者から文理問わず100の専門分野を集めてワークショップを開催する。新事業や新価値は、現状において理解・納得されないからこそ新しい。だからこそ文明論や歴史学等、文理問わず様々な学術分野が結集して「そもそも論」から議論し、まだ見ぬ新価値を「良し」とする背景思想をも踏まえて企業に提案する。

効果

研究者との研鑽を通じてその新事業を計画する段階での企業担当者の成熟や意識改革をもたらす。大学にとっては、共通テーマで様々な分野の研究者が対話する研鑽場を創出できる。



ココが、
ポイント!

新事業や新しい価値創造には、幅広い考え方や素養が必要。本事業はまだ見ぬ価値創出のため、「100もの専門分野」が集結し、専門知識だけでなくその思考方式に基づいて縦横無尽の議論を実施。学問的(哲学的)産学連携という新しいチャレンジ。